

第3章 地域連携・調和の構想

1. 地域連携・調和エリアの設定

1-1. エリア設定の目的

第2章において示した機能連携・調和型のまちづくりを進めるため、この章では、各地域の連携・調和について、『日常生活サービスの維持・向上』、『活力やにぎわいの創出』、『一体的な景観形成や自然環境保全』という3つの視点で方針を示します。

より分かりやすく、地域間の連携・調和の方針を示すために、いくつかの地域をまとめたエリアを設定します。

1-2. エリアの設定

各地域の日常生活における結びつきや基幹的な公共交通による結びつき、景観や自然環境の連続性などを踏まえたエリアを設定します。

エリア	構成する地域
佐世保中央エリア	●佐世保中央地域（市役所本庁管内）●宇久地域（宇久行政センター管内）
相浦エリア	●相浦地域（相浦支所管内）●黒島地域（黒島支所管内）
中北部エリア	●大野地域（大野支所管内）●中里皆瀬地域（中里皆瀬支所管内）●柚木地域（柚木支所管内）
日宇エリア	●日宇地域（日宇支所管内）
東部エリア	●早岐地域（早岐支所管内）●江上地域（江上支所管内）●針尾地域（針尾支所管内） ●三川内地域（三川内支所管内）●宮地域（宮支所管内）
北部エリア	●吉井地域（吉井支所管内）●世知原地域（世知原支所管内） ●小佐々地域（小佐々支所管内）●江迎地域（江迎支所管内）●鹿町地域（鹿町支所管内）



2. エリア別の連携・調和の方針

2-1. 佐世保中央エリア

(1) エリアの特性

- 当エリアは本庁管内の佐世保中央地域及び、佐世保港と航路で結ばれている宇久地域で構成されています。
- 佐世保中央地域においては、都市全体のみならず周辺市町に高次の都市サービスを提供し、長崎県北部の中核となる市街地が形成されています。あわせて、佐世保港や佐世保駅など広域的な交流の玄関口としての機能を有しています。
- 宇久地域は佐世保中央地域と航路で結ばれており、買い物や医療など日常生活においてつながりが深い地域です。
- 当エリアの海岸沿いの一部は西海国立公園として、相浦エリアや北部エリアと一体となった豊かな自然環境や美しい自然景観を形成し、「世界一美しい湾クラブ」に認定されています。

(2) 連携・調和の方針

○日常生活サービスの維持・向上に向けた連携・調和の方針

- ①中心市街地及びその周辺の市街地を都市核ゾーンとし、背後の住宅地や周辺地域からも利用される多様な日常生活サービス機能が集積した利便性の高い市街地の形成を図ります。
- ②宇久地域における日常生活サービス、現状の都市機能の維持、小さな拠点形成を図ります。佐世保港と宇久地域及び上五島を結ぶ航路による佐世保中央地域との連携の維持を図ります。

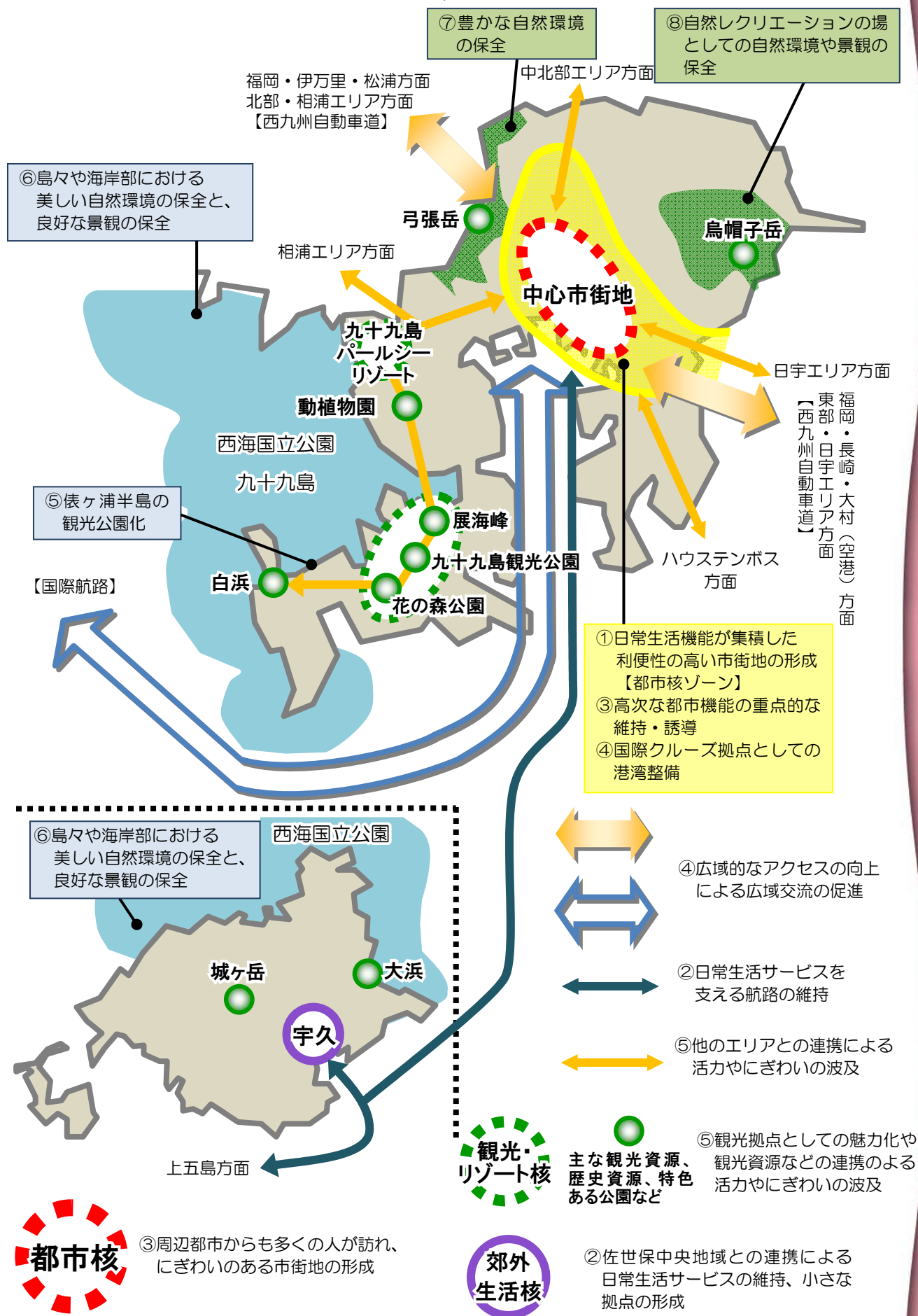
○活力やにぎわいの創出に向けた連携・調和の方針

- ③中心市街地においては、都心居住の促進と高次の都市機能を重点的に維持・誘導することによって周辺市町からも多くの人々が訪れ、にぎわいのある市街地の形成を図ります。
- ④国際クルーズ拠点形成のための港湾の整備や西九州自動車道の延伸など、東アジアや福岡都市圏、長崎都市圏および空港へのアクセス向上によって、活力やにぎわいの創出に資する広域的な交流の増進を図ります。
- ⑤本市の玄関口である中心市街地、九十九島パールシーリゾートや俵ヶ浦半島、ハウステンボス、他のエリアの観光資源などとの連携を強化し、都市全体への活力やにぎわいの波及を図ります。

○一体的な景観形成や自然環境保全に向けた連携・調和の方針

- ⑥「世界一美しい湾クラブ」に認定された西海国立公園の一角を構成する島々や海岸部においては、相浦エリアや北部エリアと一体となった美しい自然環境の保全とともに、良好な島・半島の自然景観の保全を図ります。
- ⑦弓張岳や将冠岳については、相浦エリアや中北部エリアと一体となった自然環境の保全を図ります。
- ⑧烏帽子岳一帯においては、日宇エリアと一体となった自然レクリエーションの場として豊かな自然環境と山なみとしての良好な自然景観の保全を図ります。

●佐世保中央エリアにおける連携・調和のイメージ



2-2.相浦エリア

(1) エリアの特性

- 当エリアは相浦地域及び黒島地域で構成されています。
- 相浦地域の相浦港周辺から相浦商店街一帯及び上相浦駅から大学駅一帯における市街地に都市機能が集積しています。あわせて、黒島地域と連携する相浦港を有しており、黒島地域の日常生活機能を補完しています。
- 相浦地域は相浦中里 I C を有し、佐世保中央エリアや北部エリアとの交通結節点となっています。
- 黒島地域においては、世界遺産として黒島天主堂や集落の文化的景観を保全していくことが求められています。
- 当エリアの高島や相浦地域の海岸沿いは、西海国立公園として、佐世保中央エリアや北部エリアと一体となった豊かな自然環境を形成し、「世界一美しい湾クラブ」に認定されています。

(2) 連携・調和の方針

○日常生活サービスの維持・向上に向けた連携・調和の方針

- ①相浦地域においては、西九州自動車道の延伸による北部エリアとの連携の強化も考慮に入れ、地域核において他の地域からも利用される高次な都市機能を中心に維持・誘致し、利便性の高い市街地の形成を図ります。
- ②相浦港と黒島、高島を結ぶ航路を維持し、離島における日常生活サービスの維持に努めるとともに、小さな拠点の形成を図ります。
- ③相浦地域の浅子地区については、基幹的な公共交通の維持などによって、北部エリアとの連携による日常生活サービスの維持・向上を図ります。

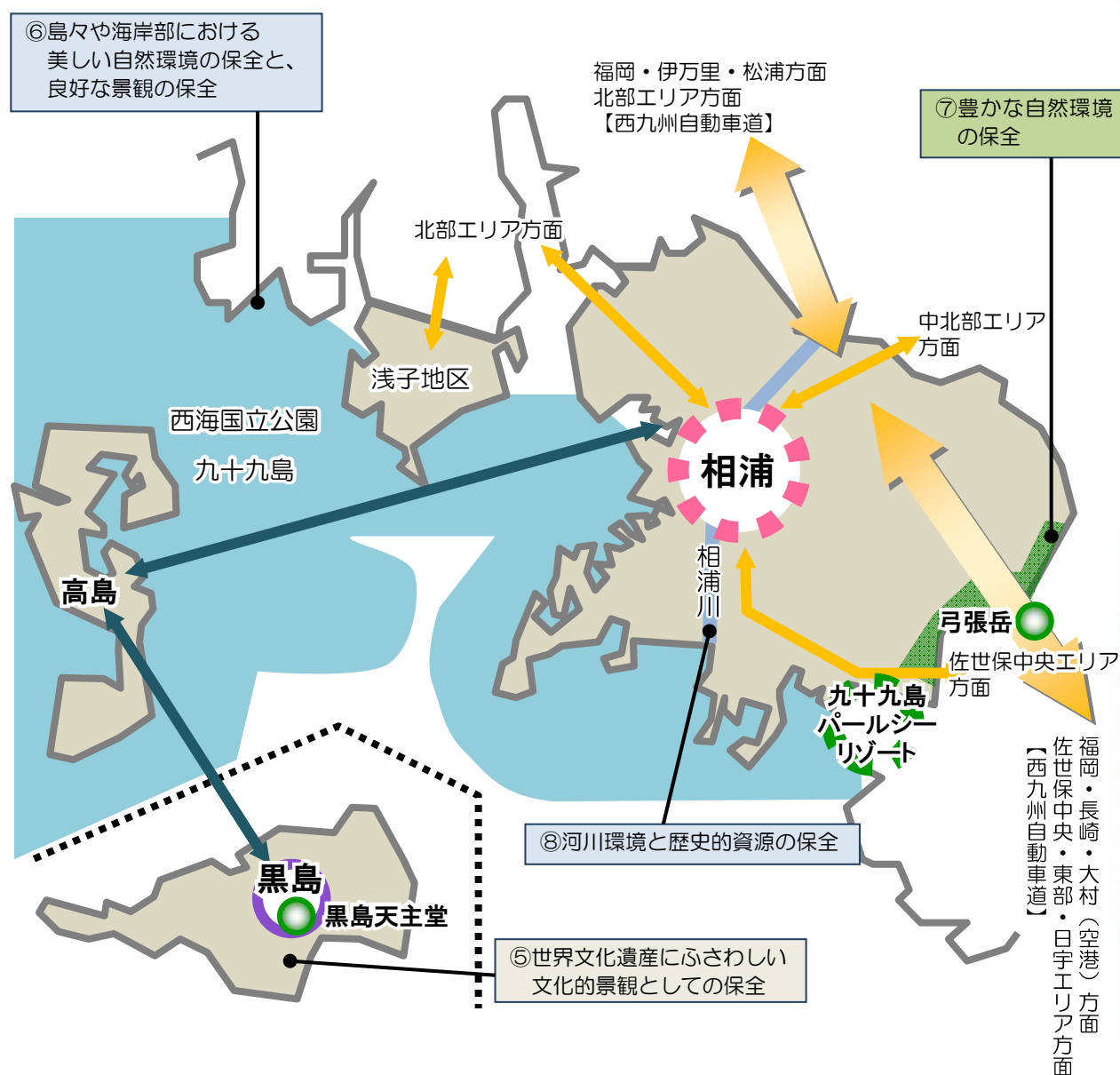
○活力やにぎわいの創出に向けた連携・調和の方針

- ④広域的な連携によって、当エリアが有する歴史文化資源や豊かな自然環境などを活かした交流の活性化による活力やにぎわいの創出を図ります。

○一体的な景観形成や自然環境保全に向けた連携・調和の方針

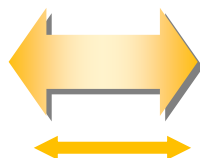
- ⑤黒島地域においては、世界文化遺産にふさわしい景観としての保全を図ります。
- ⑥「世界一美しい湾クラブ」に認定された西海国立公園の一角を構成する島々や海岸部においては、佐世保中央エリアや北部エリアと一体となった美しい自然環境の保全とともに、良好な島・半島の自然景観の保全を図ります。
- ⑦弓張岳や将冠岳については、佐世保中央エリアと中北部エリアと一体となった豊かな自然環境の保全を図ります。
- ⑧相浦川沿いにおいては、中北部エリアと一体となった河川環境の保全と歴史文化資源の保全を図ります。

●相浦エリアにおける連携・調和のイメージ



地域核

①高次な都市機能の維持・誘致による利便性の高い市街地の形成



④広域的な連携による交流の活性化



③他のエリアとの連携による活力やにぎわいの波及



②離島の日常生活サービスを支える航路の維持

郊外生活核

②相浦地域との連携による日常生活サービスの維持、小さな拠点の形成



観光・リゾート核

④歴史資源や豊かな自然環境を活かした交流の活性化
主な観光資源、歴史資源、特色ある公園など

2-3.中北部エリア

(1) エリアの特性

- 当エリアは大野地域及び中里皆瀬地域、柚木地域で構成されています。
- 大野地域においては、支所周辺や国道 498 号沿いに商業施設や医療施設などが集積しており、当エリア内の周辺地域の日常生活サービスを補完しています。
- 中里皆瀬地域は、相浦中里 I C を有し、佐世保中央エリアや北部エリアとの交通結節点となっています。
- 当エリアは、相浦地域とともに「相浦谷」と呼ばれ、泉福寺洞窟、岩下洞穴、下本山岩陰などの石器時代の歴史的遺跡を多く有しています。
- 当エリアは、市街地から北部エリアとの境に連なる国見山、板山、五蔵岳などの山々にかけて、多くの貯水池を有し、豊かな自然環境が保全されています。

(2) 連携・調和の方針

○日常生活サービスの維持・向上に向けた連携・調和の方針

- ①大野支所周辺から国道 498 号沿いの市街地においては、地域核として同エリアをはじめとし、北部エリアの他の地域からも利用される都市機能が集積した利便性の高い市街地の形成を図ります。
- ②中里皆瀬地域や柚木地域の支所周辺においては、身近な買い物や医療、福祉などの都市機能の維持により、市街地生活核の形成を図ります。
- ③幹線道路の整備や基幹的な公共交通の維持により当エリア内の各地域の連携を高め、不足する日常生活サービスの補完を図ります。

○活力やにぎわいの創出に向けた連携・調和の方針

- ④広域的な連携によって、当エリアが有する特色ある歴史文化資源や自然環境などを活かした交流の活性化による活力やにぎわいの創出を図ります。

○一体的な景観形成や自然環境保全に向けた連携・調和の方針

- ⑤相浦川沿いにおいては、相浦エリアと一体となった河川環境と歴史的な遺産の保全を図ります。
- ⑥弓張岳から将冠岳にかけては、佐世保中央エリアや相浦エリアと一体となった豊かな自然環境の保全を図ります。

●中北部エリアにおける連携・調和のイメージ



地域核

①高次な都市機能の維持・誘致による利便性の高い市街地の形成

市街地生活核

②身近な買い物や医療、福祉など都市機能の維持による日常生活拠点の形成

●
主な観光資源、
歴史資源、特色
ある公園など

④特色ある歴史資源や自然環境を活かした活力やにぎわいの創出



④広域的な連携によって、特色ある歴史資源や自然環境を活かした活力やにぎわいの創出



③各地域を結ぶ幹線道路の整備や基幹的な公共交通の維持

2-4.日宇エリア

(1) エリアの特性

- 当エリアは日宇地域単独で構成されています。
- 大塔地区においては、市域全体や周辺市町から利用される物販をはじめとした商業の拠点が形成されています。あわせて、本市における陸上交通の結節点となっており、卸団地や食品団地など物流の拠点を形成しています。
- 国道 35 号沿いに、佐世保中央エリアから続く高密度な市街地が形成されています。
- 国道から山側に向かって、開発による大規模な住宅地が多く存在しています。
- 烏帽子岳一帯は、佐世保中央エリアと一体となった良好な自然環境が保全されています。

(2) 連携・調和の方針

○日常生活サービスの維持・向上に向けた連携・調和の方針

- ①大塔地区においては交通結節機能、物販を中心とした商業や流通施設を活かし、地域核として高次な都市機能を中心に市全体の利便性を支える市街地の形成を図ります。
- ②日宇支所周辺においては、公共施設再編に伴う複合化や新たな機能の誘導を図るとともに、身近な買い物や医療、福祉などの都市機能の維持により日常生活拠点の形成を図ります。
- ③中心市街地から続く国道 35 号沿いの市街地においては、周辺住民の利便性を高める商業、医療、福祉などが集積した利便性の高い市街地の形成を図ります。

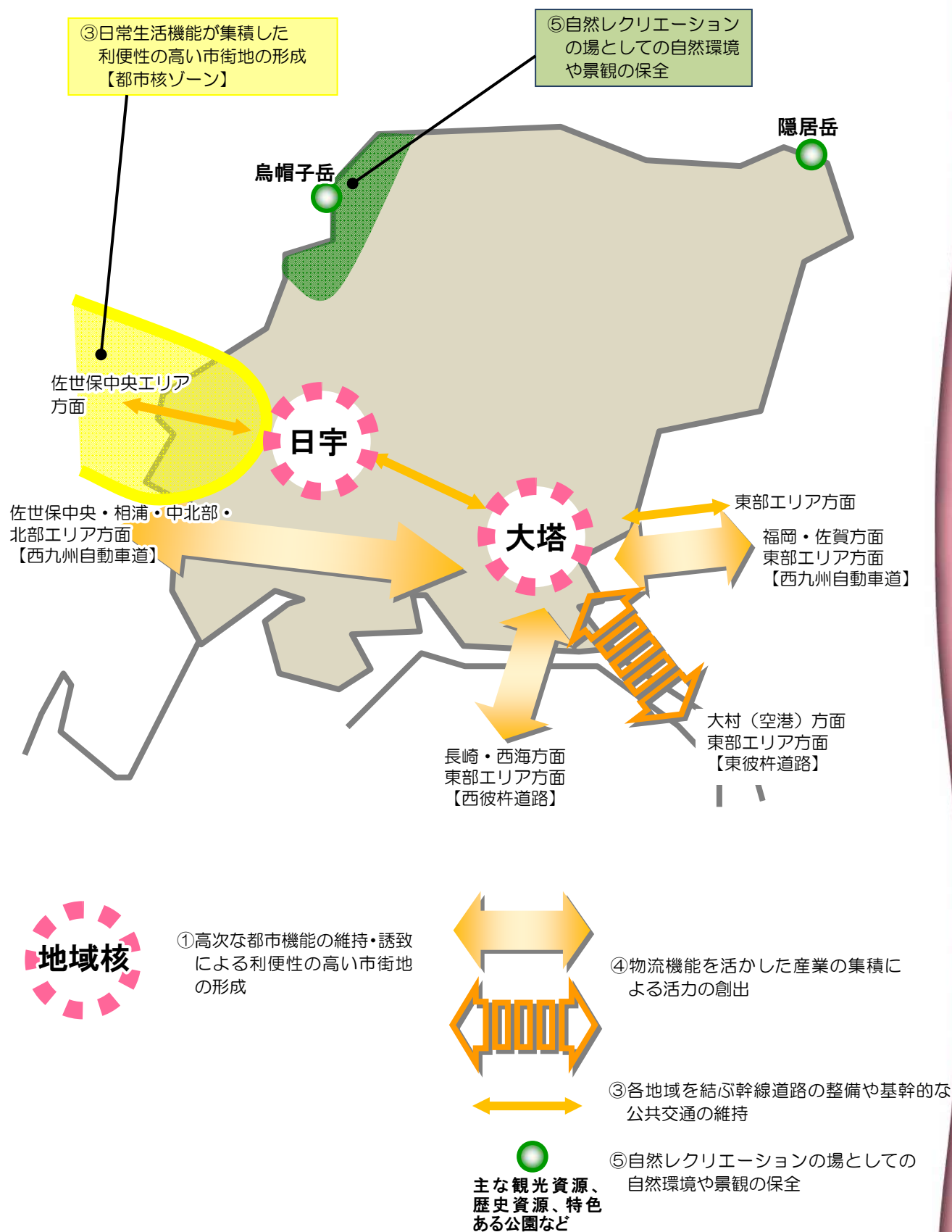
○活力やにぎわいの創出に向けた連携・調和の方針

- ④長崎・西海・東部エリア方面や広域的な道路整備の促進によって、陸上交通の結節機能の強化を図り、当エリアが持つ交通機能を活かした活力の創出を図ります。

○一体的な景観形成や自然環境保全に向けた連携・調和の方針

- ⑤烏帽子岳一帯においては、佐世保中央エリアと一体となった自然レクリエーションの場として豊かな自然環境と山なみとしての良好な自然景観の保全を図ります。

●日宇エリアにおける連携・調和のイメージ



2-5.東部エリア

(1) エリアの特性

- 当エリアは早岐地域を中心に江上、針尾、三川内、宮地域で構成されています。
- 早岐地域においては、早岐駅周辺や広田地区に商業施設が多く立地しており、周辺地域の日常生活サービスを補完しています。
- 江上、針尾、三川内、宮地域においては、農業や漁業、窯業を営む集落が点在しています。
- 当エリアは、広域的な観光拠点であるハウステンボス、西海橋、伝統工芸である三川内焼、近代の歴史遺産である浦頭引揚記念平和公園、針尾無線塔、宮の無窮洞など、交流により活力やにぎわいを創出する多くの資源を有しています。
- 国際クルーズ拠点としての浦頭地区の港湾整備や、ハウステンボス周辺における国際観光拠点の形成が進められています。

(2) 連携・調和の方針

○日常生活サービスの維持・向上に向けた連携・調和の方針

- ①当エリアの中心的位置づけである早岐駅周辺の市街地においては、地域核として周辺地域の日常生活サービスを補完する高次な都市機能の維持・誘致により利便性の高い市街地の形成を図ります。
- ②江上、針尾、三川内、宮の各支所周辺においては、身近な買い物や医療、福祉など既存の都市機能の維持により日常生活拠点の形成を図ります。
- ③幹線道路の整備や基幹的な公共交通の維持により、早岐地域と当エリア内の各地域の連携を高め、日常生活サービスの補完を図ります。

○活力やにぎわいの創出に向けた連携・調和の方針

- ④広域的な道路整備によって、他のエリアや長崎・西海方面および福岡・佐賀方面との連携の強化を図り、本市の東部の玄関口として、広域的な交流の促進による活力やにぎわいの創出を図ります。
- ⑤国際観光拠点の形成、国際クルーズ拠点形成のための港湾整備等を促進し、広域的な交流の拡大や活力・にぎわいの増進を図ります。

○一体的な景観形成や自然環境保全に向けた連携・調和の方針

- ⑥早岐瀬戸における自然環境の保全や水辺のアメニティ空間の創出を図ります。
- ⑦西海橋周辺の大村湾県立公園においては対岸の西海市と一体となった自然環境の保全を図ります。

●東部エリアにおける連携・調和のイメージ



地域核

①高次な都市機能の維持・誘致による利便性の高い市街地の形成



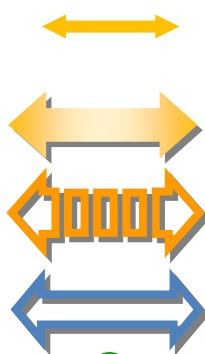
郊外生活核

②既存の都市機能の維持、小さな拠点の形成



観光・リゾート核

⑤国際的な観光・リゾート拠点としての土地利用の推進



主な観光資源、歴史資源、特色ある公園など

③各地域を結ぶ幹線道路の整備や基幹的な公共交通の維持

④広域的な連携による交流の活性化

⑤観光資源などの連携によるにぎわいの創出

2-6.北部エリア

(1) エリアの特性

- 当エリアは吉井、世知原、小佐々、江迎、鹿町地域で構成されています。
- 当エリアは佐世保中央、相浦、中北部エリアとの連携において、近隣の佐々町の持つ交通結節機能を利用している状況です。
- 江迎地域の江迎支所周辺から鹿町地域の深江地区にかけて一体的な市街地が形成されています。
- 吉井地域においては世知原地域との関係が深く、日常生活サービスの一部を補完しています。
- 北九十九島の美しい島々を望む長串山や冷水岳とともに、白岳自然公園や佐々川の清流など豊かな自然景観を有しています。

(2) 連携・調和の方針

○日常生活サービスの維持・向上に向けた連携・調和の方針

- ①幹線道路の整備や基幹的な公共交通の維持により各地域の連携を高め、各地域の日常生活サービスの補完を図ります。
- ②各地域の支所周辺などにおいては、既存の都市機能の維持に努めるとともに、小さな拠点の形成を図ります。

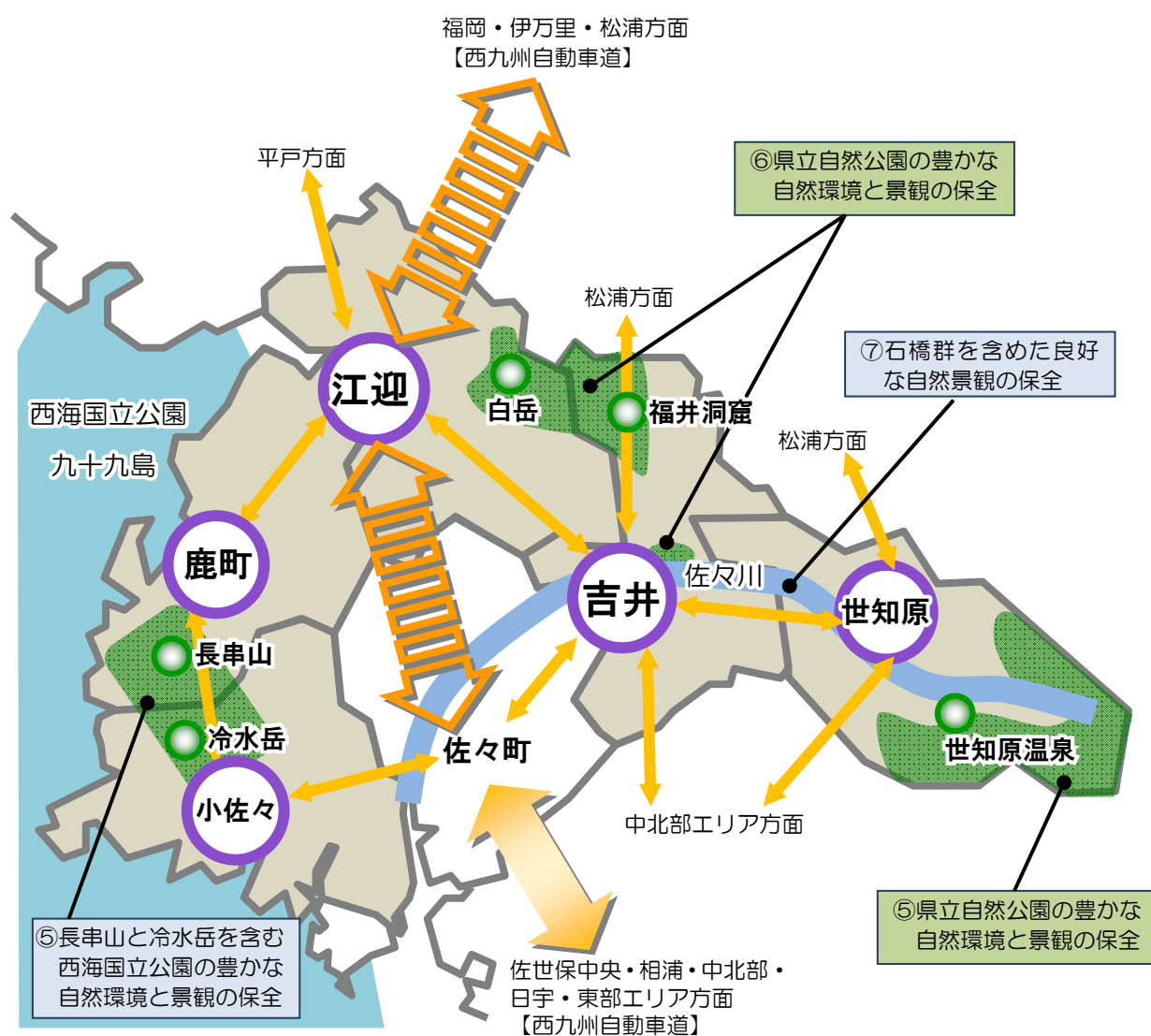
○活力やにぎわいの創出に向けた連携・調和の方針

- ③広域的な道路や幹線道路の整備によって、他のエリアや松浦・伊万里・福岡方面との連携の強化を図り、本市の北部の玄関口として、広域的な交流の促進を図ります。
- ④当エリアの各地域が有している、眺望が豊かな公園や温泉施設などの連携を強化し、交流の促進によるにぎわいの創出を図ります。

○一体的な景観形成や自然環境保全に向けた連携・調和の方針

- ⑤長串山や冷水岳をはじめとし、「世界一美しい湾クラブ」に認定された西海国立公園の一角を構成する島々や海岸部においては、相浦エリアや佐世保中央エリアと一体となった美しい自然環境の保全とともに、良好な島・半島の自然景観の保全を図ります。
- ⑥国見山や白岳を含む北松県立公園の豊かな自然環境の保全を図ります。
- ⑦世知原地域から吉井地域に流れる佐々川は、石橋群を含めた良好な自然景観の保全を図ります。

●北部エリアにおける連携・調和のイメージ



郊外生活核

②既存の都市機能の維持、小さな拠点の形成

主な観光資源、歴史資源、特色ある公園など

④観光資源などの連携によるにぎわいの創出

①各地域を結ぶ幹線道路の整備や基幹的な公共交通の維持

③広域的な連携の強化による交流・連携の促進

